

# 土木技術



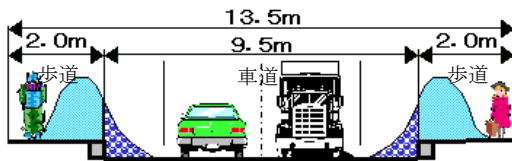
## —積雪寒冷地対策—

北海道では、冬の厳しさを克服し、快適な生活環境づくりに向けて、土木技術の知恵が生かされています。

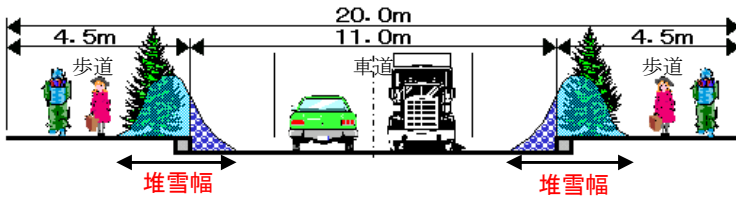
### 北海道の道路は、なぜ広いの？

#### 堆雪幅を確保した幅員構成

(標準幅員構成)



(堆雪幅を確保した幅員構成)



北国の北海道は、年間の降雪量が10mを超える地域があるほど多雪なところだ。

降雪があった場合には除雪が行われますが、円滑な交通確保を図るために、道路には除雪した雪を積むスペースが確保されています。このスペースを「堆雪幅」と呼んでいます。

#### 堆雪幅なし



狭い歩道を歩くのを嫌い、車道を歩く人もおり、非常に危険です。

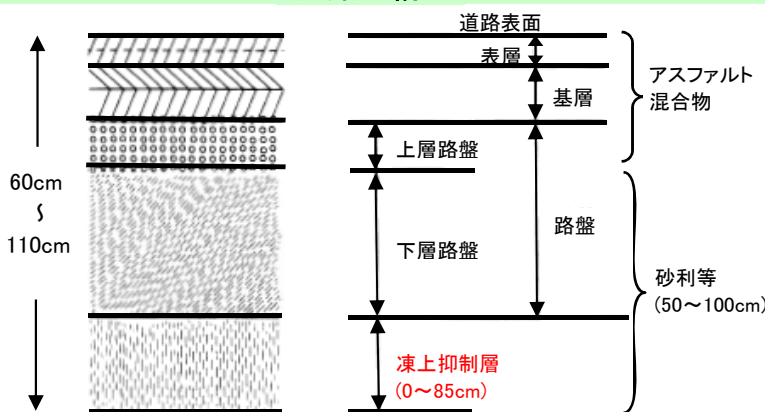
#### 堆雪幅あり



雪を積むスペースが確保され、歩車道が快適になります。

### 北海道の道路構造は厚い！

#### 道路の構造



北国の北海道は、氷点下30°Cを下回る地域があるほど冬の寒さが厳しいところだ。

道路は交通だけでなく、冬の厳しい環境に耐えられるものでなければなりません。道路は凍結が原因で破損しないように、凍結の恐れがある場合には、凍結の影響を受けにくい砂利等の層が設けられることから厚くなります。この層を「凍上抑制層」と呼んでいます。

#### 道路が凍上を起こし、ひび割れが発生している様子



#### グレーピング工法

凍結路面でのスリップ事故を防止するために、舗装路面に溝切りを行っている。

